

第十二号



第12号昭和48年6月7日発行

発行所  
西多摩医師会  
発行人 高水 武夫  
編集責任者 箱崎 淳  
青梅市西分3-103  
郵便番号 198  
電話 (0428)3-2171  
2172

原稿毎月15日メ切



は「夏」に  
入った

波つ高き  
空

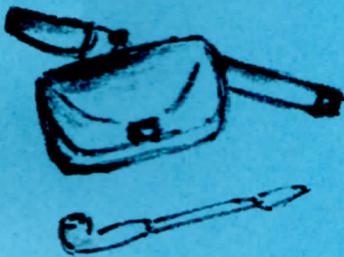
うすもの、  
舟えすく

嘘と「さ」に  
けり

三味線とは  
なせば

眠「よ」と  
ます

一 万太郎 一





## 目次

☆ 時論	先進諸国の医療形態を探る（其の八）	小泉新策	1
☆ 随筆	社会保険の始祖、西ドイツに就いて（承前）		
☆ 趣味	結核のアレコレ（一）	岸田壮一	7
	古川柳に於ける「エロティシズム」（二）	上田登代一	12
☆ 文芸	西医歌壇	小堂	19
	△ 孤 ∇	F 生	14
☆ 新入会員紹介			11
☆ 半頁メモ			21
☆ ニュース			20
☆ 編集会議余滴			22
☆ 編集後記			25

# 先進医療諸国の形態を探る

〔其の八〕

## 社会保険の始祖、西ドイツに就て

(承前)

日医代議員 小泉新策

西ドイツでは医薬分業制であるが薬剤費の一部自己負担は古い歴史的な制度であって、一九三〇年代に一処方箋につき〇、五DMから始まって、三年後に一DMに引き上げられ、更に一九六九年の改訂で一処方箋につき薬剤費の二〇%、最高限度二、五DMの患者現金負担、但し、子供、慢性疾患者、年金支給者、傷病者は免除するという内容に改正されたのである。この改正は二ヶ年の時限立法で、その効果の成績如何によつては廃止か継続かが決定されることとなっている。

薬剤師協会は、この問題について、薬剤費のみに限つて一部負担制をとつたことは政策としては失敗である。併も限度額と免除項目の設定で骨抜きとなっているので効果は認められない。却つて事務の

煩瑣を増すばかりであると非難している。

ソ連、ポーランド、ハンガリー等の社会主義国では病院の医師の診療費や、諸経費は無料であるのに薬剤費については、患者の現金負担制をとつて来ているが、それにもかかわらず医薬品の消費は近年急速に増大している。これらの例から見ても薬剤費の一部負担がさ程予防的效果を持っていないことは明白であると述べている。

果して西ドイツの医療に於ける薬剤の占める割合が大きいかどうか。参考までに先進諸国のこの比率について調査をして見ることにする。

一九七〇年のデータによると次表の通り

日本	四二%
アメリカ	一二%
スエーデン	一二%
イギリス	一二・五%
フランス	一九・六%
イタリア	二九・四%
スイス	一二%
西ドイツ	一三・五%

以上の如き比率になっていることがわかるがこの比率は総医費を分母とし消費薬物を分子としての比率であるし、総医療費の多少によつては比率に大きな相違が現れて来る。また日本の場合には総医療費が少額であることと、入院医療費をも含んだの比率であるが、外国の統計は凡て外来のもののみで入院医療による薬品を分離集計され

たデータが見当らない。そこで国民一人当りに換算した絶対数で見ると、医療費は

イギリス 二万五〇〇〇円  
西ドイツ 三万円  
フランス 三万円  
日本 一万五〇〇〇円

薬剤費では

イギリス 三〇〇〇円  
西ドイツ 四〇〇〇円  
フランス 六〇〇〇円  
イタリア 四〇〇〇円  
スエーデン 七〇〇〇円  
日本 六〇〇〇円

この表で見る限り決して異常に高くはない。薬剤費比率が高いとの非難は医療費を考慮しない議論であって、寧ろ分母である医療費、即ち技術料が異常に低いということを指摘することとなるわけである。日本の医療費は異常なまでに低額であって薬剤費によってカバーしているのではないと極言するものである。

西ドイツの病院の現況に就て調査して見ると病院は公立が過半数、利益を目的としない公益団体立が四〇%、利益を考えている私立が若干数ある。参考までに他の国の状況も調べて見ると例えばイギリスは国立、スエーデンは殆んど公立、ごく一部が利益を目的と

していない公益団体立であり、フランスでは過半数公立、他は私立、イタリアは国立が二五名、他が私立、スイスは連邦政府は病院経営に関係せず、少数の公立と、多くの公益団体立、および私立である。病床数は公立が全体の四分の三を持っている。オランダは公立が二〇%、極少数が国立、宗教団体立が六〇%、私立一五%である。日本では二〇床以上を病院と呼んでいるがフランス、スイス、イタリアではホスピタルは国立公立をいい、私立のものはクリニックと呼んでいる。クリニックでも病床数の多いものもあるが、多くは国立が規模の上では大きい。宗教団体その他の公益団体立のものがこれにつき、私立のものは小さいといえる。この傾向は我国も同様。保険機関が病院や診療所を直営する形をとっているのは、イギリスのみで、他の国では保険機関とは別個に経営されていて、保険機関が契約によりこれを利用しているのが通例である。

医療形態の組織網については、地域住民、それを担当する家庭医、地域担当病院、地域中央病院、地方中央病院というような医療システムを完成しているのは、イギリスとスエーデンのみであり、フランスやスイスもその方向へと努力はしているがまだまだである。

西ドイツは地域人口と病床数の均衡については配慮をめぐらしている。フランスは大学附属の治療と研究の地方中央病院、技術も設備レベルも高い総合病院、地方自治体の中心地に在る中央病院、内科外科産科を持つ各自自治体所属の地域病院、患者の家庭の延長的性格をもつ内科産科地域病院、老人や、虚弱者を収容するナーシングホ

ーム等々以上のように病院の組織づくりには努力してはいるが現状は設備人員共に不十分である。結核や精神病患者は慢性病院として数的には多いが別の組織系列で考えられている。西欧諸国での病院数、総ベット数、人口対ベット数、一施設当たりベット数、年間、延入院患者数、年間収容患者数、病床利用率、一人平均入院数等を表示して見ると次の通り

第一表

日	病院数	総ベット数	一施設ベット数
イギリス	三二〇〇	四六万五千	一四五
西ドイツ	三六三五	四六万	一七六
フランス	三〇一〇	四九万五千	二二五
イタリア	二四八三	四四万	一七七
スエーデン	九〇四	一二万七千	一四〇
スイス	二五六	七万	二七三
オランダ	四一八	一十一万九千	二八五
日本	七七〇三	一〇〇万四千	一三〇

第二表

日	千ベツト当	年間人員数	入院日数
イギリス	八、五	一四〇〇〇万人日	一九日
西ドイツ	一、一	一四〇〇八〇万人	二二〇
フランス	九、九	一〇〇八〇万人	一七〇
イタリア	八、四	四九九六万人	一三〇
スエーデン	一、六	三八五五万人	四〇〇
スイス	一、一	一六五七万人	三二〇
オランダ	九、四	三八八三万人	一九〇
日本	一〇、一	二一八五四万人	四三〇

病院勤務医師数は一九六八年統計で人口一万当りイギリス五・四人西独五・〇人日本四・〇人。入院日数は最短がイタリアの一三日でほぼ平均二〇日前後、日本は四三・〇日で最長である。

病院の近代化への傾向として、病院は大規模でなければ、その機能を充分發揮することが出来ない、最低五〇〇床が理想と考えられていて適正規模は一四〇〇床と云われている。西ドイツでは二〇〇床以上の新增設には政府が援助している。援助額は建築費の三分一を政府が分担している。建築費については一床当り、新設と増設では異なるが八〇〇万〜一〇〇〇万円を要すると云っている。

建築費は我国よりは割高のようだが各国とも病院新增設に国や地方自治体や保健機関が財政的援助をしている。この点は我国とは大きな差がある。

入院料や差額徴収について調べて見ると、西ドイツでは一疾患につき三年間に七八週まで患者負担がないが、それ以後は疾病保険の枠からはずされる。長期を要する場合は疾病年金で取扱われる。

そのまま病院に留るためには全額負担となる。又保険患者を扱う一般病院でも、私費による上等な病室がある。又入院中は処方される薬品については二〇%の負担がかかる。一処方につき二、五DMで(二四五円九十銭)頭打ちとなる。

このような上級病室や上級看護のための差額について肩替りする民間保険会社による保険がある。日本でもこれは必要ではないか。

一般に病院の一五%は私費患者ベットで一日六五DM(五八五〇円)

の入院費を払うことになっている。入院費も三階級あり、なお保険患者の入院料は一九七〇年度一日四五DM（四、〇五〇円）で入院料の納別額は三級三七、六DM（三、三八四円）二級四七DM（四、二三〇円）一級六一、五DM（六、五四五円）。私費患者の三級五一、四八DM（四、六三三円）一級二級同格でそれぞれの差は五、六五DM（五〇九円）であった。

西ドイツでは入院費については各病院が各疾病金庫との間に契約を締結する。通常地方政府の定めた患者一人一日当りの定額によっている。この定額は病院に格付けがあつて七段階にわけられている。

同一病院でも入院料は三段階あり、この定額は最低三級入院料一九七〇年度一日四、〇五〇円、私費患者五、八五〇円であつた。

西ドイツでは政府の公表する処によると一九六八年には赤字額九〇〇〇万円、連邦政府では病院財政法の制定を考慮中であるとのことである。各病院の費用を經常収支と設備投資とに区分し、前者には政府負担の比率を引上げ、後者には二〇〇床以上の新設についてのみ援助して居り、一般入院の収入のみでは賄ききれず、この補助を地方自治体が支出し、又このため私立の公益団体病院は独立性を失いつつあり、病院経営の赤字は目下問題となつている。一般には二〇%〜二六%が赤字であると云われている。赤字の問題は日本のみではない。西ドイツ初めヨーロッパ諸国でも問題となつているのが実情のようである。

次に病院の外来患者取扱について調べて見ると、先ず教育病院で

は軽症患者診療で教育のため外来を扱っている。その他退院者の経過保護とか一般医よりの検査依頼者以外は西ドイツ及びヨーロッパ諸国では外来は扱って居ない。前にも述べたがスエーデンでは全病院で外来扱いをしている。その数は外来数の約五〇%に相当する。又イタリアでも我国と同様外来取扱をしている。

西欧では薬局以外は一般には調剤は行っていないがイタリアでは日本同様行っている。又教育病院でも外来調剤を行っている。

西欧諸国では病院はまず患者の収容施設が出来、そこに医師を呼び、それが専属となり、所要の医薬品は外部の薬局から供給をうける。

現在でも多くの病院が専属の薬局をもっている。このような歴史的過程を持っているので現在でも病院には必ずしも薬剤師がいるわけではない。この点日本と大分違う。日本の病院は必ず薬局があり薬剤師が居て病院構成のスタッフの一員となっている。

西ドイツの病院三六〇〇中、薬局を持っているのは四〇〇床以上の病院のみで全国で四五〇のみである。そこには約八〇〇名の薬剤師が勤務しているとのことである。又イタリアでは二五〇〇の病院中、約五〇〇の薬局があり、そこに約六〇〇名の薬剤師が勤務している。一定の規模以上の大病院には薬局が専属して居り薬剤師が勤務して居るわけである。西欧の病院では処方の内容が簡単でかつ処方量が一定しているので薬局業務も日本に比して容易であり、薬局は病院に必要な薬品の供給基地としての業務が主で葡萄糖液やリンゲル液等、市販にない薬品の製剤とか、処方単位に合せる小包装にするた

めの大包装よりの小分け、或は薬局保管、品質の検査等が主な業務内容である。これ等に対する施設整備は充実してアメリカのそれよりも立派だと評価してゐる。又製剤も種類量共に多いが我国のよりに夥しい種類と量の外来調剤はない。随つて人員も小人数にてすむ。

日本の診療よりもよほど単純に簡素化されていて見方によつては均一化が過ぎて所謂日本で審査会の委員から傾向診療ときめつけられるような傾向のものが大手を振つて通つてゐるわけである。

次には医薬分業の問題について述べて見る。

西ドイツの医薬分業は一二四〇年以來の歴史を持つてゐる（七三〇年前）。当時の皇帝フリードリッヒ二世が医師が処方と同時に調剤することを禁じ、医師と薬剤師との両者の職分を分け与えたのに始まる。以來ドイツに於ては今日に至るまで医師と薬剤師関係は良好な職域関係が保たれてゐる。

フリードリッヒ二世はドイツ統治四〇年間の中でドイツに在住したのは僅か九年間のみで殆んどシシリーに在つてシシリーを支配し、更にイタリア全土の支配に執心の余りドイツに於ける教会と諸侯領の行政権を殆んど放棄したかの如く、王政権の虚脱時代を作り帝の死后「大空位時代」を迎へることとなつた。このような皇帝が何を感ぜ何をきつかけに世紀の遺業として医療の分業を確したことであつたか、このことは深く銘記すべきことである。医療分業の發生の歴史は上記の如く古い世紀にさかのぼるのであるが、現在も薬剤師

および薬局の權威と社会的信用は嚴然として存在し法制化され職域の自治組織によつて高揚されてゐる。薬剤師の會は一は作業協同體であり、強制加入で倫理的な薬剤師會議所と他は任意加入でコマールシャル的な薬剤師協會とがあり、會議所は医師や弁護士、建築士、公認會計士等の如き自由職業と同様に公共機関として各州に設置され、會員數約二万人を有し、政府に代つて薬剤師の職業倫理を確立して職業的秩序を維持してゐる。そのため會議所は、薬剤師の職業の範圍規則にしたがつて調達供給を嚴守する職業秩序を確立して居り、大學出の新加入薬剤師の再教育、実地修練を行い會員間の友好關係の維持に努めてゐる。會議所が行う司法權限は薬剤師の違反行為を犯した場合、罰則として叱責、罰金、資格剝奪がある。その上刑法に觸れる不良行為に就ては、例えば医師の処方箋なしに麻薬を投与したような場合などは、會議所での処罰の上に政府の刑法が加えられる。このような基盤の上に医師、薬剤師、患者との間の信頼關係がつくり上げられてゐるのである。

西ドイツには一萬一〇〇〇軒の薬局がある。そのうち九〇%が協會に加盟して居り、他に一萬四〇〇〇軒の業種商がある。

薬剤師協會は登録協會であつて、その目的は經濟、商業行為、經營問題等について規制に対する利益協同體であつて、病院や健康保險に關する折衝業務もこの協會の重大な任務の一つである。

薬剤師に対する法的規制とともに、薬局もまた薬局營業規則により取扱品目の制限がある。医薬品や検査薬以外の取扱商品の規制が嚴

重になっていて、包帯類、医療用器具、衛生用具、食餌療法用食品等以外のものは殆んど認められていない。現在薬局の売上げの六〇〜七〇%が健康保険関係で、処方箋によるもので、疾病金庫との取引きであるが六、七年前までは五〇%程度であった。薬局にとって、売上の増加することは歓迎することであるが一面疾病金庫へ支払うリベートの増大に苦しむこととなる。リベートは売上額の七〇%で、人件費の増加と相俟って収益率の低下することを嘆く声をきくのである。

薬局の健康保険マージンが公定されていて、取扱い薬品が厳しく制限されて、開設の自由はあるが、処方箋による販売薬局の将来は決して有望視することは出来ない。

スエーデンでは近年政府と薬剤師会とで共同出資で六〇〇〇軒の薬局が買上げられ、薬局会社として発足している。(一九七一年から)現在の薬局は下部組織としてこの傘下に入って業務を行っている。

この方式は他に類を見ないので成果に注目されているが、西ドイツでもスエーデン薬局のように、一定の生計保障を与えてくれる方法について検討したいと愚痴っているむきもある。

医療分業について、分業へのイメージは日本で我々が安易に考えている如くた易いものではない。西欧諸国の中でも特に最も歴史的に古い伝統を持つドイツで然りである。

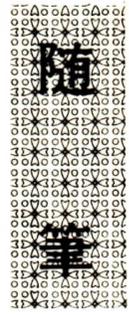
近年フランスでもイギリスでも薬局の閉鎖が目立っている。イギリスの(再販売価格制度の判決文によると)最近五ヶ年間に約半数の

薬局が減っている。一年に五〇〇軒ぐらい廃業している。事実二万軒の薬局が一万二千軒に減って居り、現在でもまだ減りつつある。このままのスピードで減っていったらいいものか否か、公益の面から見て価格引下げのメリットとマイナスの面との比較も問題であり、複雑なものがあるようである。フランスの薬局が一〇日間もストライキを決定したのも、人道上の問題を越えて敢えて決行せざるを得なかった裏には、これらと共通な流通機構と関連する種々不備なる、不利益の点が露呈していたことによるものと推定される。

かつて社会党の医系代議士瀧井義高君が薬のことは、特に医薬分業への道程は大変むづかしい。船舶のことから研究を初めねばわかる処へ行かないと、常日頃云って居たのを記憶する。私がこうして西欧の医療の形態の大様を採ろうとしても、一度医薬の問題、特に薬業界との関連問題に入ると、一寸やそとでは解釈しかねる数々の煩雑な諸問題に逢着する。何れ機会を改めてこの問題とも取り組んでみたいと思つて居るので今回はこの位にとどめるとする。

### アンケートについてお願い

趣味その他についてのアンケートを既にお願ひしてありますが、次号から順次掲載させていただきますので、アンケートをお寄せいただいた先生方は顔写真を医師会事務所までお届け下さい。まだアンケートを書かれていない方は是非お送り下さい。



## 結核のアレコレ(一)

(福生病院勤務) 岸 田 壮 一

旧約聖書のレビ記第二十六章十六節と申命記第二十八章二十二節に**労瘵 Consumption**の語がある。今いう肺結核を指すらしい。昔は**肺勞**、**勞咳**、**肺病**などといった。がこの語は旧新約聖書全体の中でこの二箇所しかない。これに対して癩の字は随所に出る。

癩といっても現在私達が知る所謂ハンセン氏病だけではないらしく、頑強で癒り難い慢性皮膚疾患を漠然といったようである。十六世紀になってウィリアム・ハーヴェーが血液循環説を唱えるまで人類は内臓諸器の作用は本当は知らなかった筈だから体の中の病気のことはよく分らなかったらしい。皮膚は外からよく見えるからその学問は早く発達したのかも知れない。

そういうことはあったとしても、昔は結核は**地方病 Sporadic disease**としてはかなり猖獗を極めて、**社会全般の流行病 Epidemic disease**

idemic disease にはならなかったと思われる。しかし結核は世の中に全く知られなかったわけではなく、古代エジプトのミイラにも皮膚結核が見られるというし、その頃の彫刻にも皮膚結核の癩痕形成と考えられるものが見られるそうである。

私は不学で皮膚結核なるものをよく知らない。教科書にはあったけれども、実際の患者でハッキリ見た記憶がない。ただそれらしいのに抗結核剤を投与したら症状が軽快したので多分そうだろうと思っただけである。元来肺外結核は概してその病変の場から結核菌を証明するのは困難である。

印度のバラモン教の経典にも、アリストテレスの著書の中にも肺結核と思われる病気の記載があるという。そしてそれは悪い気を吸うことよって発病するといっているから伝染病であるとする概念は既に古くからあったのであろう。

大ローマ帝国が滅亡して、民族大移動があったが、その中の勇敢な部族フン族を引連れて東奔西走、あらゆる敵を撃破して無人の野を行く如く暴れ回ったアッチラ *Attila* 王は征服民族から掠奪した美しい花嫁との結婚式を挙げた祝宴の最中に大咯血を起して急死した。これは物語であるが、史実としても信憑性があるらしい。

本文の主旨とは関係はないがフンという語源は今なおハンガリー *Hungary*、フィンランド *Finland* に残っている。以前は**洪我利**、**匈牙利**、後者を**芳蘭**などと書いた。『洪』の字は氾濫の意味に用いるからハンと読みたくなることもあるが、『匈』の字は全くそんな気

配はない。同じ頃支那の北西方で漢民族を悩めたのが匈奴であるから、或は何等かの共通点があったのかも分らない。

中世にはあらゆる文化が衰退していたのであまり記録文献といったものがないらしい。しかし何か微細な病原となる生物があつて、これが人から人へ伝播するらしいことが漸次知つて来たようである。中世の諸侯が人民に与えた法令の中で、この病気で人が死んだ時はその人の家材道具、寝具、衣類時には家までも一切焼き捨てねばならないと念じたものがある。

文芸復興から産業革命の時代ともなるとやや様相が一変して来ている。私は産業革命なる言葉の歴史学的定義はよく知らない。私は私流に考えて蒸気機関の発明からこれを動力とする工業が発達したのがこれに当るとしよう。僅々二百年位前のことである。それまでの家内工業が俄然工場工業になり、その中でも紡績工業が進歩した。又物資の輸送が人間若くは動物主として馬に頼っていたのが蒸気機関車の牽く汽車にとって換られ、海上輸送も又同様であつた。

ここに工場の織工なる階層が生れたが、元來は農村の子弟であつて、女性も又多かつた。耕すべき農村は開墾による拡大は望めなくなつていたので農業生産の飛躍的収入増大の見込はない。しかも天候その他の条件が左右し農産物の価格も安定しないから、工場が農村の青年男女の労働力を吸収するのは当然である。これが結核伝播の媒介をなしたことは論を俟たない。

このような産業が最初に殷盛を誇つたのはイギリス大ブリテン島

の西海岸であつた。世界最も早く鉄道の敷かれたのは木綿工場地帯の中心地であつたマンチェスターとその外洋への出口港湾リバプールであつたことは有名である。

結核蔓延の波頭は先ずこの辺に起り、イングランド全域に拡がりロンドン附近からイギリス海峡を渡つてフランスの北海岸やオランダのロッテルダム附近に上陸し、ラインランドやザール地方を巻き込みながら、ドイツを西から東へ横断し、ポーランドを経て帝政ロシアの広野へ消えて行つたという。

温帯地方では原則として偏西風が吹く。我が国の天気図もテレビの画面で見れば、例えば中支揚子江附近に発生した低気圧が翌日は九州附近に来ていることがよくある。結核菌もこの風に流されて西から東へ流れたのではないかと考えるのは一寸科学的でない。多少そういうことはあつたとしても、経済の発展がそう動いたからだとした方がいいであろう。

ただ南欧の地中海に横たわるイタリア半島では勿論若干の余波は受けたけれど、まともにこの波をかぶらなかつた。それは文芸復興発祥の地であつたが、外の大海である大西洋に面していないので、植民地獲得ではイギリス、オランダ等に数歩も遅れ、資本主義産業の発達に急劇でなかつたからであらう。しかも気候温暖、風光明媚なこの地方は先に植民地接取で財をなしたイギリス貴族の観光地又は保養地となつていた。そして転地療養の場とされていたのである。

音楽の天才ショパンはこの頃パリに来て勉強に励んでいたが、無

理がたたつて結核を発病、イタリアのナポリの地で療養し、若き情熱の恋も、生命を懸けた作曲も思うように進まず、経済的にも零落して、憔悴の末、この地の木賃宿で淋しく死んで行ったという。

私は Chopin という *speil* を何と発音するのかよく知らない。彼はポーランド人である。彼の少年時代祖国はドイツ、オーストリア、ハンガリー、帝政ロシアの三大国から圧せられ分割されて、遂にその国名は地図の上から消えた。憂国の情を悶々の胸に秘めてパリに渡って音楽の道にいそしんでいた。ショパンとはフランス語読みである。彼の残した曲は物淋しく奥深い。祖国の運命を詠う如く、自らの運命を訴える如くである。

富士川游の「日本疫学史」を見ると天然痘の話ばかり書いてある。戦国時代から織田、豊臣を経て徳川時代ともなるとコレラの流行が出て来る。我が国は島国であったので長く外国の武力征覇を困難ならしめたので、伝染病の侵入も比較的少なかったであろう。ヨーロッパ大陸のように国境が人為的のものであればどうしても各種の民族が入替り立替りこれを蹂躪して歩くようになる。

徳川幕府は鎖国を行っても、密貿易は完全に阻止出来ず、南蛮渡来の文明は入り込んで来た。世に明暦の大火というのは何回かの火事を総称しているそうだが、これは振袖火事の異名がある。或る商家の娘が恋に敗れて気が狂って死んだので、その振袖を古着屋に売ったところ、それを買って着た娘が又同じように死んだ。それが三回続いてしかも同じ月日に死んだので、これを焼き捨てたら、その

火が折からの風で煽られて燃え広がり大火になった。娘の怨霊の所為だということになった。病気は「ブラブラ病」といったがどうも肺結核らしいとのことである。

明治になると徳富蘆花の小説「不如帰」が出た。これは肺結核の啓蒙というよりも女性解放、因習の打破を世に訴えようとした点で、尾崎紅葉の「金色夜叉」と明治文学の双壁をなすものであつて今日に至るも名声を失わない。肺病なるが故に愛する夫である「武夫」と別れさせられ、「川島」家を離縁されて悲しく死んで行く「浪子」への同情はあらゆる階層の人の心を打って涙をさそうものがあつた。

私はここに蘆花が何故に「不如帰」ほととぎすの題をつけたのか不思議に思う。この鳥の名は吐宇、吐鵲、鵲鳥、子規等イロイロの字を書く。俳人正岡子規は自ら肺結核に悩んでいたので、ワザワザこれを俳号にしたと聞く。吐鵲は必ずしも血を吐かないが、その啼き声は血を吐くように聞えるかも知れない。肺結核は血を咯出するからこの題が選ばれたとする解釈が普通である。

現在では肺結核も老人病になったから、年間で死亡の多い時期は冬である。肺炎などの気道感染のために呼吸面を失い、換気不足のため心臓の負担を増して死ぬ。昔は必ずしもそうでなかった。

冬の寒さが終って花が咲き始め、新緑が萌え出してやがて初夏の季節が訪れた頃咯血する者が多くなつた。氣象学でいう温暖前線の通過が影響したのかも知れない。兎に角結核死亡日の年週期変動を見ると新緑梅雨の頃が多いのであつた。ほととぎすの啼く頃がピー

クであった。勿論統計的のことではあるが、当時から或は知る人は知っていた事実ではないだろうか。

妙な話の筋道から結核疫学の話に入ってしまったが、何故にこの季節に結核死亡が多かったのか考えて見ると、これはやはり性慾との関係であろう。春の目覚めという如く気候が寒い冬を過ぎて春の暖かさが漂うと、まだ青年であった結核患者は鬱勃として性慾の高まりを覚えたに違いない。そして相手があるうとなかろうと、即ち相手があれば性交を重ね、なければ自慰を行って、悶々の日夜を過したであろう。しかも当時は結核は不治の病であったから、前途を悲観すればする程絶望的となって自暴自棄に陥って性慾的行動に耽ったものと思われる。尤も結核患者は性慾が強いのではないかという人もあったが、その医学的証拠はない。主として精神的影響であろう。

敗戦前の特攻隊の青年は神の如くに自爆したとはいうが、出撃前には愛する娘達に心から性交を要求したらしいし、飛行服に女性の裸体像を書きなぐって飛立ったものも多数あったとのことである。これら青年の心情は充分に理解することが出来る。ツイ先達まで結核療養所の敷地内で、多少とも人目を避け得る場所には性交の後始末をしたらしい名残りがあったことも記憶に新たである。

所謂思春期に結核を発病するものが多い理由は明確に説明した文献を見ない。多くの疫学調査の報告ではその頃は高等小学校を卒えりと社会に出るのが通例であった。即ち前記の如く紡績工場などに

入る一群は結核処女地たる農村に育って、概ねこの年令で都会へ出た。そして男性ならば兵隊検査まで、女性ならば嫁に行くまで、つまり十代の後半 *hiltreen* に当るが、女中奉公などした。この間に感染を受けるのだと書いてあった。

勿論これは要因の最も大いなるもの一つに相違ないが、これだけではどうも充分納得のいかないものがある。私は思春期の肉体の変化が結核菌の侵入増殖を容易にするものと考えざるを得ない。そして女性の方が一乃至二才早く来る。それは女性の月経初潮が男性の性器発育より若干早いからであろう。死亡率の頂点は二十才前後にあったが女性の方が一、二年若いのが常であった。

発病から死亡までの年数も女性の方が短かった。尤も発病というのは誠に疑問で発見といった方がいい。医者によって初めて結核と診断された日が発病年月日とするより仕方がない。女性の方が診断を受ける機会に恵まれなかったのか、本質的に女性の方が弱かったのか明確でない。

女性にのみある妊娠、分娩が結核を悪化させることは事実であるが、説をなす人の見解によれば女性を既婚者と未婚者に分けてみても未婚者の結核死亡が必ずしも低くないので、この影響は左程でないと言るのであった。これは誤りである。未婚女性の中には結核のために結婚出来なかったものが相当数含まれている筈であるからこの比較は無理である。

「不如帰」の話から話が横道に入ったが、結核を書いた文芸作品

は多い。ヴェルディの歌劇「椿姫」の主人公ヴィオレッタ・ヴァレリーは肺病で死ぬことになっている。トーマス・マンの「魔の山」は療養所生活の淋しさを書いてある。結核は他の一般の病院—Hospital—ではなく、療養所 Sanatorium で長期に療養しなくてはならないという思想は前世紀の中頃出来て、スキーで有名なダボスの近くに最初のもので建てられた。アメリカ合衆国のサラナック湖畔のトルドー、サナトリウムなどが歴史的に有名である。即ち新鮮な大気を吸って、身心共に安静にすることが結核治療の根本であると考える方である。

国より精神の安定がよいことはすべての病気にいえることで、特に長期に亘る結核療養にこれが重要な要素であることは当然であるが、果して自然の天候で変化する空気の温度に体がついていかねばならないかどうかは甚だ疑問である。このため結核療養所は皆て窓を素通しにしたり、外気小屋と称して山林に粗末な建築をしてこの中に起居させたりした。何程の効果があったか誠に怪しい。特に困るのは患者は慣れているからいいが、回診する医者や看護する看護婦は冬期は寒さに耐えられなかった。

最近光化学スモッグなどといってオキシダントは有害なものときれている。そしてその中のオゾンは特に害をなすものといわれる。昔はこの反対であった。オゾンは発生期の酸素を容易に遊離するから結核菌に殺菌作用を有するのではないかといわれた。海岸よりも高原の方がよいというのは空雷や落雷即ち空中放雷によるオゾンに

意味があるとする説すらあった。どうも医学というものも何をいうのか解らない。  
(次号につづく)

## 新入会員紹介

次の二名の方が目白第二病院に



福原 清

昭和九年十一月十日生れ、東京出身。昭和三十五年日本医大卒。趣味 囲碁、写真

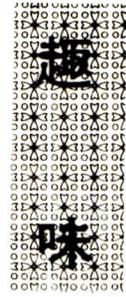


小野 曄子

昭和十九年四月二十七日生れ 東京出身 昭和四十五年東京大学卒。趣味 園芸、手芸

尚次の三名の方が転出退会されました。

- |         |             |
|---------|-------------|
| 工 藤 誠 二 | (八王子医療刑務所に) |
| 岩 崎 一   | (日本医大 新内科に) |
| 折 尾 正 広 | (帰郷 静養 )    |



# 古川柳に於ける

## 「エロテイシズム」(二)

上 田 登代一

新造は生体なしにされるなり

むごい事新造めくら突きにされ

痛いワナどうしめささると田舎嫁

あつためて進ぜようと聲は入り

新世帯<sup>あら</sup>人の思った程はせず

大きいで嫁人知らる難儀なり

なりつた嫁小便を細くする

花嫁はもちあげる迄に斟酌し

紙燭<sup>とも</sup>して見たと新造はくやしがり

その当座屋間も筆筒のかんが鳴り

内裏離寝末へ落ちる新世帯

昨夜したまふと昼間新世帯

気が利かぬ長い日だのと新世帯

中日に初めて嫁は昼間され

じつとして居なとぬき手で紙を取り

鼻紙の用意七十六日目

みす紙で拭けば涙も気が悪し

ため息一つ唇で紙を取り

馬鹿亭主「えゝか」「えゝか」とやたら聞き

若旦那夜は拜んで昼叱り

里帰り話さぬ事は母聞かず

して居たと見た朝姑大怒り

空寝入りして母親は始めさせ

初孫を早く見たさに二階へ寝

よがり泣き姑と親爺で空軒き

若姑息子がするとたゞは寝ず

昼も折ふしされますと姑云い

足音のたんびに腰を使い止め

必ず隣ありと小腰に使い

女房のすねたは足を縄にない

足を縄になってねだり言を云い

鼻息の出る時抜いて喰いつかれ

執拗はもちつと入れて置きなさい

抜ける迄置けば女房も気嫌なり

死にますの声に末期の水を呑み

蛤は初手赤貝は夜中なり

丸の字を尻で書かせる面白さ

尻つべたでふとんをぬぐりぬぐり泣き

愛想にするとは憎いよがり泣き

湯上りの味は古語にも賞めてあり

女の凄さ関取りを持ちあげる

不届きさ池へひびけるよがり声

此の様にさせはせまいと女房云い

気の毒と云い云いさせた跡をさせ

誰が広くしたと女房云い込める

りんの玉芋を洗うが如くなり

温めてくんなど足をぶっからみ

またかえと女房は笑い笑い寄り

大きいが良いとも女房云い兼ねる

女房が来ると出て行く八九寸

女房を起さずに置くあくる朝

女房の味は可もなく不可もなし

そこかいてとはいやらしい夫婦仲

股倉を嗅ぐ様にして髪をすき

納豆をいい最中で買いはぐり

納豆を腹の上から呼んで置き

ねれ切った嫁そこ豆が六つ出来

宝船雛になる程女房漕ぎ

女房の歓喜は足で合掌し

悪い癖女房嬉び泣きをする

良く続きなさると女房大気嫌

吾が女房でも昼する時は盗む様

真昼間かかって亭主喰らわされ

もうかけ取りは来ぬと女房にかかり

りんの玉女房急には承知せず

(色々大人のオモチャ屋から買って来て

も使用度は案外少ないかも)

今夜許りよと女房上になり

口を酔くして女房を腹へ乗せ

下にして呉れなと女房切ながら

持參金茶臼が出たで安緒する

腹の子が切なからうとけつもどき

さか子生みそれから茶臼とんと止め

女房に茶臼引かせりゃ引き外づし

もつと大腰でと亭主下で云い

胎内である夜赤子はけつをされ

尻からは嫌と持參を鼻にかけ

茶臼とは美食の上の道具なり

女房を見て居てされる猿ぐつわ

女房の股まで明ける猿ぐつわ

旅の留守見舞一日無駄を云い

旅の留守帰った夢でうなされる

旅戻り思いなしかは広くなり

留守だからしなとはひよんな寝言なり

とと様は留守かか様が来なさいと

陰膳のやきもちを焼くふてい奴

旅の留守うちへもごまの蠅がつき

もつとしたがる筈だと旅帰り

(医師会旅行出席も命がけです)

旅疲れ女房許しつ引き放し

又うちでせにや済まぬと朝帰り

(鬼気胸に迫り来るものがありますね諸先生方よ)

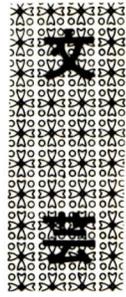
『 医師と云えば 』

見せた外科見ると内儀は逃げるなり

医者がもういいと云ったとかかるなり

医者様に云いつけやすと女房させ

(以下次号)



## 孤

近頃の彼は、妙に元気がなく、何か考え込み、苛立って居る日が多くなって居る様に思われた。蛋白質の少ない此の山村の柚の男にしては、丈も高く、色白で筋骨も逞しい、未だ、27才の彼は、仲々の美男で、村の娘等の注目の的であった。彼の父は、第2次世界大戦中、ビルマで戦死し、落胆した彼の母も、父の遺骨を抱いて、終戦前に他界して終って居た。村の山合の稲荷神社の片隅に建てられた彼の小さな家には、5つ年下の足の悪い妹と、彼とが残され、やっと中学を出た彼は、卒業式の翌日から山仕事に出なければならなかった。彼は親

## F 生

譲りの頑固さと、勝気さことから、親類の援助とか、他人様からの憐憫等は頑として受け入れず、そうすることが宿命であったかの様に、父の残して行った斧を腰に、彼の身に余る大きな下刈鎌とを担いで、かつて彼の父が従事して居た山仕事に、大人等に混って、毎日朝早くから山に入って行った。終戦後、彼の多くの友人等は、彼等の山を捨て、畑を嫌って、故郷を後に、労少く、収入の多い仕事へと移って行った。其の度に、彼も、多くの人々から色々な誘いを受けた。しかし、彼は、頑として此の土地から、そして、山仕事から手を引こうとは

しなかった。小学生の頃、先生から、「二宮尊徳」とか「エジソン」とか、立志伝中の人の話を聞かされても、彼は、それ等の話には、何の興味も持てなかったし、彼等は、自分等以外の世界に住む、特異な才能と、奇妙な性格とを持った人間のみが成し得る事のように思われ、決して、それを真似たり、実行しようとは思わなかった。其の上、其の様な希望を持つことは、足の悪い妹の「せつ」を捨て、彼女を失う事の様に思われた。妹の「せつ」は、彼が小学校に入る前から、母よりも、彼の背中に居る時の方が多かった。子猿が母猿の背に居る様に、彼の背には、何時も、「せつ」が振り付けられ、彼は、他の腕白盛りの友人達の仲間にも入れてもらえなかった。それでも、彼は、決して、嫌がりもせず、山へでも、沢へでも、従横に走り廻って、背中の幼い、「せつ」を喜ばせた。彼は、山を愛し、山を知り、更に、山を楽しむ様になって行った。

山峡の春は遅かった。しかし、暖かい春

の陽射しに雪が溶け始めると、溶けた所からは既に、可愛い犬ふぐりの花が咲き始める。上を見上げれば、早や、紅梅や椿の蕾が膨らみ、白梅が咲けば、露の苔、土筆、蕨と、暖かさを増して、沢の大きな岩に山吹が吹き、稲荷神社の大きな山桜の花が、春風に散れば、春の景色は、日々に忙しく、彼の小さな家は、色々な花に包まれて行った。梅雨明けの雷が、四方の山々を驚かし、子供等の楽しい夏休みを迎えれば、山には、山母、桑の実、木通等が彼等の口を喜ばせ、沢には、山女や鮎が彼等を待ち、沢蟹と戯れ、四季を通じて、山は、決して、彼に、他に楽しみを求めようとはさせなかった。其の上、何時の頃からか「せつ」が彼の背中に居る事が「せつ」の彼の背中に与える重みが、彼に、安心感を与え、「せつ」の肉体の温みと、ほのかな、異性の香りと柔かさとは、彼に、精神的安堵と、満足感を与える様になって行った。此の十年來、彼は病氣一つしたこともなく、何時も黙々と、不平も言わずに働き続けて来た。

「健、どうしたい、此の頃元気ネエナ……」  
何時も何事につけても、父の存命中から、氣に掛けて呉れて居た源小父が心配そうに、健一の顔を覗き込んだ。

「ウン……何でもネエ……」  
彼は親譲りの太い眉を寄せ、男にしては、可愛い口許を引き締めて、大きな潤んだ眼を伏せた。

「何処か、身体でも悪いか……いや何か心配でもあるかや……」

「いや、何でもネエ……」  
「そんだったらエエが……何か考え事をする」と、よく怪我をするでヨウ……」

「うん、有難たう、大丈夫ヨ……」  
梅雨の、晴間の山道は、草いきれで蒸し暑く、杉や桧の若芽からは、咽せ返る様な熱気を発散して居た。木陰には、十葉や雪の下が、妖しく咲き競い、日当りの良い斜面には、笹百合、山百合、萱草等が甘い香りを漂よわせ、時に、彼等の行事を小綬鶏の群が、小走りに横切って行った。

「源小父……、今でも、狐が、此の辺に

は居るベエか……」

と健一は、山道を登り乍ら源小父を振り返った。

「え!!狐、いや、まだ居るベエヨ、キツト……」

「デ、狐がどうしたい……」

源小父は訝しげに、彼の顔を覗き込んだ。

「いや、何でもネエ……唯……」

健一は、近頃、妹の「せつ」が、何かに怯えた様に、兄と顔を合わせるのを嫌う様な素振りを見せ、身体も、何処か気倦怠るそうに、余り食慾もなく、身体付きが、何処となく変って来たように思われて仕方がなかった。彼等が、母親を失って以来、尚更に、彼は、妹の「せつ」を母親を思わせる様に可愛がり足が悪くて一步も外へ出られない彼女の、食事の世話から洗濯迄もしてやり、風呂には毎日背負って行っては、身体中を流してやった。「せつ」も此の、一二年のうちに、すっかり娘らしく美しくなっていて、日に当らない所為もあってか、母親譲りの肌の白さにすっかり脂肪が付い

て豊富な癖のない黒髪は流れる様に肩から乳房にまつわり、役に立たない足以外は絵に画かれた裸女のように、薄暗い風呂場に坐らせた彼女は、薄暮に咲いた辛夷の花を思わせた。

彼は、何時も、村の健康そうな、何事にも屈託なく、よく喋り、よく笑い転げる娘達を見る度毎に「せつ」の兄と一緒に居る時以外には、決して笑う事を知らない痛々しさに、此の事のみは、神の不公平さを悩んだ。それでも彼は、「せつ」を、いや、彼自身を癒やす為に、近頃は、雨など降る日には、いそいそと町へ出掛け、少ない彼の小遣の中から、姫鏡台とか、白粉や口紅等を買って来ては、「せつ」に与え、「せつ」が嬉しそうに鏡に向うのを惚れ惚れと眺めるのが楽しみであった。美しく化粧した「せつ」は本当に愛らしく、美しく彼には思えた。そして、健一は村の娘の誰よりも「せつ」をいとおしく、一生「せつ」を担い、「せつ」を抱いて過ごそうと考えていた。

半月程前からであろうか、「せつ」は、何故か風呂に入るのを嫌がり、兄に憐れみを乞う様な眼付で眺め、時には、兄の親切に耐えられぬ様に涙を浮べ、そして、身体に触られるのを嫌い、何者かに怯え、兄に對して今迄の様な、娘らしいお喋りも、しなくなつて終つた。しかし「せつ」の大きな、可愛らしい黒い瞳は、特に、朝、兄が働きに出掛けるのを送り出す時などには、媚びる様に妖しく輝いて、何者かを待つ様に、鏡に向かつて化粧を始めるのであった。

「健!!危ネエゾ、ソレ、何をポカッとしてるダ……」

源小父の払つた杉の枝が、健一の顔を、かすめて飛んで行つた。

「大丈夫か!!健……」

「ウン、大丈夫だ……」

健の右頬は、破れて、血を噴き出し、足を滑らせて、尻餅を付いて居た。

「健!! 頬から血が出て居るゾ……」

源小父は心配そうに、杉の木から降りて

来て腰の手拭で押え、雪の下の葉を器用に揉んで彼の頬に張り付けて呉れた。

「言わネこつちャネエ……健、本当に近頃どうかして居るゾ……何を考へているダ……」

「いや、一寸頭が痛エだけヨ……」

「さっき、オメエ、狐がどうかだか、とか言つてただが……狐でも近頃見ただか!」

「うん、「せつ」が近頃、どうも変なんだ、二、三日前もヨウ……夜、髪されやがって……狐、狐と騒ぐだヨ……そして、大声で泣くんだ……」

「ヘエ、そりゃあ、いかんのう……アノ娘も可愛そうに、家にばかり居て、気が晴れんからのう……しかし又稲荷様の床下にも、狐が巣くつたベエかナァ……俺ァの小供の時分には、むじなや、狐が仰山いたがのう……又、何時か稲荷様を掃除すベエヨ……」

しかし健一は、彼には理解出来ぬ何かがある。「せつ」の身体の中に起つて居るのを感じて居た。そして、其の中何か不吉な事が、

我々人の上に降りかかる様に思われて、此の二、三日仲々に夜も眠つかれず、昨夜も「せつ」の寝顔を眺め、まんじりともせず、今朝は「せつ」の未だ眼覚めぬ中に起きて、今迄したこともない稲荷神社の掃除を済して来たのであった。

彼が、頬の傷の手当を私の所に来だしてから、三、四日たった、或る梅雨明けの雷を伴った、土砂降りの真暗な夜であった。

うわづった源小父の雨戸を叩く音に私は、眼を覚された。時に、光る雷光に照らし出された蓑笠を被った、柔和な、しかし、数多い苦勞の痕を刻み込まれた源小父の顔は、恐怖に引きつって、喉にしまった声は、降りかかる風雨に消され、彼の震える厚い口唇は、彼の鼓動の早さを思わせた。私は、雷雨の為に苛立つ心を压えて、やさしく云った。

「どうしたい!! 源さん……」

「は、早く来ておくんなセユ……先生……」

「だから……どうしたんだ……誰が」

「せ、せつが…… 血を出して……」

「エ!! せつ、せつって誰だ、俺は知らないが、…… お前の所の嫁か……」

「いや、違う違う、健の……早く、早く来て……」

山峡の雷雨は物凄いい、しのつく雨は、またたく間に、傘を吹き上げ、衣服を通して、風に吹きちぎられた若葉は、気味悪く私の手や顔に張り付き、間歇的に起る雷光は、眼底に閃光を残して、四方の事物を識別出来ないまま、私は、無茶苦茶に源小父の足に従って行った。降り注いだ山の雨は、沢を、二倍にも、三倍にも膨れ上らせ大きな岩を揺り動かし、沢から溢れた鉄砲水は、狭い林道を川のように流れて、私の鞆を背負った山道に馴れて居る筈の源小父の足でさえ、焦る心の様には進まなかった。稲荷神社の大きい岩を回ってやっとの思いで健一の家に、たどりついた源小父は、土間に鞆を放り出すと、へたへたと腰を降ろし、私は、水から上った小犬の様に身体を震わせた。八畳程の土間には、中央に大きな爐が堀られ、自在かぎには大鍋に湯がたぎり、

一方の壁には、暗い裸電球がぶらさがって竈と流しとが並べられ、もう一方の壁には斧や鎌、そして、蓑笠等が掛けられていた。ホット一息入れると、私は、したたる汗と霏とを、壁に掛けられた薄汚い「タオル」で拭い、びしょ濡れた上衣を脱ぎ捨てて往診鞆に手を掛けた、と其の時、稲荷神社にでも落ちたとしても思われる様に、閃光と轟音とが、私の眼と耳を破壊するかと思われる様に襲って、私は、頭をかかえ込んだ。ふと眼を上げると、障子に仕切られた土間より一段高い部屋から薄赤い光がもれ、其の時、確かに、私には、其の障子に大きな狐の影が写った様に思われ、びしょ濡れの私の身体は凍える様に硬直した。しばらくして我にかえった私は、サット障子を開くと、彼等の部屋に跳び込む様に入ってしまった。

薄暗い畳の部屋には「せつ」の可愛い箆笥が置かれ、机の上には鏡台や化粧道具、そして、赤い傘のスタンド迄も並べられて、何やかにや綺麗に整頓された若夫婦の部屋

を見る様に思われた。健一は、「せつ」の爲に買ひ与えた柔かい綺麗な布団に寝かされた妹の頭を抱きかかえ、重い、低い声で「せつ」の名を呼び続けていた。私は恐怖に震える彼の逞しい肩にそっと手をかけて、部屋から出て行く様に眼で彼を障子の方へ追いやった。彼は一瞬、恥じ入る様な眼で私を見上げ、そして、悲しそうに眼を伏せて、よろよると部屋を出て障子を閉めた。

薄赤い彼等の部屋には、妖気が漂い、「せつ」が寝かされた足許の荒壁には、大きな、玉虫色の油ぎった百足が、そぞろに這い回り、天井のない細い梁を小単が渡って行った。時折射し込む雷電に照らし出された「せつ」の顔は、実に美しく、細い眉、睫毛の長い切れ長の眼、口紅をさされた口許は、愛らしく細い長い首筋、肩から盛り上った乳房へかけての透き通る様な白い柔らかな肌は、妖婉なニンフを想わせた。しかし、赤い花模様の掛布団をはねのけた私は、一瞬、恐怖にも似た戦慄を覚えた。うち振げられた真白な、よく成熟した太腿の

間には、真赤な血の海に、未だ臍の緒につながれた五ヶ月にも満たぬ胎児がヒイヒイと轟めき、「せつ」の膝から下は、子供の下腿を見る様に低く、しかも、すりこぎの様に足首から下が切断されて、両足ともなかった。

とどろく雷鳴は、地を打ち、家を震動させて、私の手術の手を硬ばらせ、注射の手を鈍らせた。

稍意識を回復した「せつ」は、しなやかな美しい手と、足のない細い下腿とを震わせて赤子の様に泣き叫んだ……。

私は、えも云われぬ疲れと、倦怠感、そして安心感とから、源小父に一杯の酒を所望した。健一は、安堵と悲しみの後に湧き起る怒りに耐える様に全身を硬直させ、総ゆる労働に耐えた、太い、大きな手を握りしめて、「せつ」の顔を睨みつけて居た。しかし、それも、次第に、いとをしさと憐憫の表情に変わり、そして、今迄、彼が一度として見せたこともない一筋の涙が彼の頬を伝わって落ちた。

あれ程降りしきった雨も、忘れた様にピタリと止んで、梅雨明けを告げた雷も北の空に遠のき、時折、音もなく、雷光が深い山を夢の様に浮き上らせ、此れから暑い初夏の朝を迎える霧、此の山村をすっぱりと包んで、一掬の酒を含んだ源小父と私の頬を、冷たく、心地よく撫でて流れて行った。水を増した沢の草葉には、落ち螢が飛んで、鳴き渡る鋭い子規の声は、何となく「せつ」の家の叫び声に似て、私は、「せつ」の家を何度も振り返った。提灯を捧げた源小父は、しきりに涙をすすり、時に石に躓いては、何事か口籠り乍ら頻りに溜息をついて居た。

「せつ」の回復は思いの外に良かった。しかし、一週間後の早朝、兄は妹を背に括り付けて多摩川に身を投げ、半月程して、稲荷神社の椽の下に大きな雄狐が死んで居たと源小父が知らせて呉れた。

西 医 歌 壇

小 堂

村 里 の 曙 (四八・三・二四)

山里はまだ覚めやらず朝もやの

けぶれるうちに梅の香ただよう

古寿鶏の啼く音おちこち村里は

まださめやらず朝もやのうち

朝餉たくけぶりたなびく村里は

昔ながらの静けさのうち

峰 の 山 桜 (四八・四・一二)

こじゅけいの啼く音かしまし秋川の  
ねむるがごとき春のあけほの

春がすみたなびく溪のかなたにば

桜千本もえいでにけり

峯高く桜並木の花ふぶき

祭太鼓も耳心地よし

春 の 谷 川 (四八・四・一二)

糸たれて谷川のぼる釣り人の

行くて黄金の山吹の花

岩つつじ谷間織りなすせゝらぎに

かじかの鳴きて水ぬくもれり

雉啼ける春の深山にたたずめば

山猿群れて谷川わたる

(小 泉 新 策)

# ニュース

## 定例理事会

四八、五、七

高水 会長

出席者 高水、栗原正副会長。山田、福島、速水、内山、高木、森、瀬戸岡、江本、川崎、近藤各理事。菱山各監事。

### 一、臨時総会開催の件

山田理事

昭和四七會計年度決算報告、西多摩医師会互助会報告、杏林納税貯蓄組合報告、労災事務組合報告を五月二十六日午後二時より医師会館講堂にて開催したき旨説明し全員了承す。

### 二、国民健康保険整備委員補充の件

高水会長

表記の件に関して会長より阿伎留病院より一名補充したき旨説明あり全員承認す。

### 三、医師会創立六十周年記念事業の件

高水会長

山田理事

三月の定時総会に於て本事業施行が承認されたるに伴い、本事業遂行のため早急に委員会を設置して、計画を立案する必要があること

とを説明す。委員会は式典準備委員会及び六十周年記念誌編集委員会

の二部を設け、会長直屬として各委員を委嘱することを了承す。

総務部より種々計画案を提示して遂行することとす。尚、臨時総会

に本事業施行のため臨時会費徴集の承認を求むることに決定す。

本事業に関し瀬戸岡、川崎理事より質問あり。記念式典は秋十月二

十一日の日曜を予定するも、式典等の関係で尚研究することとし、

全員了承す。

### 四、休祭日診療及週休二日制に対する件

福祉部

東京都医師会では本年七月一日より都下全域に於て休祭日の診療実施を計画している現状に鑑み本医師会管内に於ても現在実施している青梅市、羽村町を含めて公衆衛生部二福祉部でこれに対して協議することとし、同時に今後問題視される週休二日制も検討すべく、各地区より委員を選出して、公衆衛生部及福祉部各理事を交えて協議することと決定し全員承認す。

### 五、新規入会者承認の件

青梅総合病院

絹巻

宏（東京大学出身）

児科

池亀

卯女（東京大学出身）

児科

大久野病院

川村

良秋（日大医出身）

内科

塩沢三郎（東京医科歯科大出身）

外科、内科、皮膚科

羽村町神明台一―三五―四

先生は昭和三八年三月福生市熊川中央診療所に奉職したことがあり、今回羽村町に開業 入会を全員承認す。



## 正常値・境界値のよみ (ASLO値)

ASLO値が有意に上昇している場合は、(1) 溶連菌感染症(リウマチ熱・腎炎・猩紅熱・アンギー・肺炎) (2) 非特異的上昇として多発骨髄腫・肝炎がある。(2)を除いては上昇があってもこれは比較的最近溶連菌感染があつた事を示すものとして考えASLO値上昇のみで特定疾患を又疾患の重症度・活動性を考えるのは誤りである。他の有力な症状、所見を充分考慮しその裏付けと考えるべきである。

### 技術的方法の確認

ASLO値測定に2つの希釈法がある。① 50・100・125・160・250・333・500・625・1250・2500・と② 80・160・320・640・である。②はかなり粗い希釈法で例えば250のものを160とする事がある。即ちASLO値陽性のものが陰性と判定される事がある。希釈法を確認する事が必要

### 年令変動

4才までは値が低く5才以上の小児の正常値範囲は一般に高く成人になると低下50才以上ではさらに低下する。通常学童300、成人250以上を上昇と考えるのが妥当である。

### 境界値のよみ

初田検査で学童500・成人333、であれば有意上昇と考えるが学童333・成人250であれば境界値としてよみ2週間以の間隔で2回以上測定を行う必要がある。

(N)



更年期および更年期後の婦人に!

〈天然・結合型エストロゲン製剤〉

## プレマリン錠

■特長 1.天然水溶性のエストロゲンです。2.高力価を含有します。  
3.経口投与で活性です。4.更年期障害の諸症状を速やかに寛解させしかも健康感を与えます。5.閉経期後のエストロゲン欠乏により起る種々の代謝異常を改善します。

■包装 プレマリン錠 1.25mg(黄色)105錠、525錠、1050錠、  
プレマリン錠 0.625mg(褐色)105錠、525錠、1050錠

健保適用



製造発売元  
東洋薬造株式会社



提携  
アイヤース・ラボラトリーズ

# 編集会議余滴

於福生 さゝめ寿司

A 今晩は福生市の先生方に来ていただきましたので、早速ですが会報に対する御意見がありましたらお願い致します。だいたい会報は面白いですか？

B 順を追ってよくなってるんじゃないですか。

C 会報は毎回面白いですよ。

D 編集委員がそう言ったんぢゃ……………。

C いや、編集委員が言う位だから、一般の会員の人はもっと面白だろうと思う。(笑)

E お世辞ぢゃなく面白いですよ、本当に。皆さん読んでいます。

F 写真が入っているといいね。

A 写真はこれから出来るだけ入れようと思っています。

B アンケートなんかいいですね。全部ぢゃなくて、今日は熊川地区とか、人数をしばってやったら……………。

A えゝ、十号にも予告しておきましたが、アンケートを近いうちに全会員に書いていただくように出しますが、出来るだけ皆さん書いていただきたいと思ひます。回収率が悪いと、アンケートの価値がなくなりますから……………。

B アンケートの内容ですが、往診靴の中身とか……………。例えば、どんなアンプルを入れてあるとか、抗生物質、鎮咳剤の名前だとか、面白いぢゃないですか。

A 初めのアンケートは趣味だとか、大ざっぱなものだけの予定です。

G 剣道とか柔道とか、碁、マージャンなどの高段者も居られるから、どうしてやるようになったとか、コツはどこにあるかだとかを書いてもらうのもいいですね。

H 俳句とか、そういうものに堪能な方も多いですから、長いものを書かなくても、そういうような簡単なものを出していただければよいと思ひます。

A 趣味について皆さん書いていただければ一番いいんですが、それが皆さんお忙しいから書いていただけない。そうなりますと、どうしたらいいかといひますと、編集委員が皆さんの所にお伺ひして、お話を聞きましてそれを載せるという方法しかないんですね。で、今年中に六十周年記念誌を作るために、医師会昔話として古い先生からお話をお聞きしていますが、一応一通りそれが終わりましたら趣味を聞くという題で、対談とか座談会式に記事にしたいと思ひております。

D それから医政問題は、これはまとめて書くのは書きづらひから、各地区で座談会形式でやって、ABCというふうには本名を出さずに自由放談にして、週休二日制とか、或は乳幼児無料検診だとか、

どうして反対するかとかをデスカッションするのはいいんじゃないですか。

F 会報を拝見して我々開業医に身近に感ずるのは、会報の末尾に小さく書いてある、例えばこういう病名にはこういう薬を使ったら駄目だとか、使用基準外だとか、そういうことが書いてありますね。あゝいうようなことが我々開業医には最も必要なことだと思います。会報の内容としては面白いものもありますし、なかなか有益なものもありますが、それはそれとしまして私はそういうふうなものが非常にいいと思います。保険診療に対して卓越した知識のある方が、一寸アドバイスしていただければ減点とか、査定とかそういうことが未然に防げるんじゃないかと思えます。

H 実は今西多摩では、全体として問題が少いんですが、原則としてこういうことはやってはいけないという資料を集めて、これを保険部で検討して出しているわけで、疑義解釈なんかは日本医師会報などに出ておりますから、我々の身近の問題として会員に為になる項目だけを集計して出しているわけです。

I 読者の希望欄というのを入れたらどうですか。今度三澤先生がファイバー・スコープを売りたいといっただけですが、売りたいとか買いたいとか、こういう本を探しているからみつめてくれとか、余っているから売りたいとか……。

E 売買欄ですか。

I 売買もあるだろうし、ただでいい場合もあるし……。

J 東先生からの希望ですが、医療過誤の問題をとりあげてもらいたいと言われました。

H そういう点を載せるとすると、都にあつた事故を拾い上げて我々に身近なものだけを載せるならいいですね。現在のところ西多摩としては事故がないから……。

C 新しい医療過誤をすぐ会報に載せるとするのは一寸むりですね。解決して数年たったんなら……。

G 笑ってすませるような時期にならなければ、当事者はかわいそうですよ。

C 時効にならなければ、またその記事をたてに訴えられますからね。

K 九号だったかに編集委員は筆の暴力だと……。一寸何か言え、はね返ってきて気の弱い者は何も言えないし、書けないというのがありましたね。あれを読んで何か私が叱られているような気がしたんです。拝啓編集長様というのも、私は編集長ではないんですが、前に私がツケツケ書いたことに対して言っているようで……。

それで皆さんにお聞きしたいんですが、今の編集部の方についてどう思っておられるか。それからもう一つは、私が何か提案したりしてもそれに対する反応がないんですね。全くヌカに釘なんですよ。賛成しているのか反対なのか、完全に無視しているのかそれが分らないんですね。そこらを一般会員が活発に、反対なら反対、賛成なら賛成と堂々と署名入りで出してもらいたいですね。

F 本当は総ての人が毎月原稿を寄稿するというのが当然だと思  
うんですよ。会員総ての人が毎月書いておれば、こういう編集会議  
を開いて、書いて下さいだの、どういう風にして書きましょうだ  
とは、こういう会議を持たなくてもどんどん編集部で出来るわけ  
です。要するに寄稿者が少いということに起因するんだと思うん  
です。尤もだという意見や、少し行き過ぎだという意見があっても筆に  
ない。だから又カに釘みたいになってしまう。これは我々書けない  
会員の責任になってしまふんですが、皆が書くようになれば問題が  
ないんで、どうしたら皆が書くようになるかが一番大切なポイント  
になるんですね。

——（この、どうしたら皆が書くようになるかの結論が出ない  
まま会も終りにりましたが、貴重な御意見を有難うございました）

（出席者―敬称略） 高水会長 横田寿照 岸田壮一 三坂

晴一 上田登代一 山田正哉 島田芳明 （以下目白第二

病院） 矢島民夫 福原清 小野嘩子 （以下編集委員） 藤

野是常 菱山正治 川崎健一郎 杉本一 矢ヶ崎久雄 堤

次雄 内山大 池田聖 以上十八名。

---

動脈硬化・高血圧の愁訴に



**エベラ**ニコチネート

血流不全による愁訴を改善するだけでなく、血管を強化し、眼底出血や脳出血  
の防止に役立ち、また、脂質代謝を改善し、血管の弾力性を保持します。

---

## 編集後記

天職と趣味とが一致している種族がこの世界には結構多いと聞  
が、羨しい。黙々として働くことが目的である人生とは——高  
原の空気も、落葉松の緑も、否あの青空と太陽でさえも別の世界の  
風光だろう。

自然の最高の恩恵——夏の陽光を全身の皮膚で、精一杯吸収  
しながら、若草を褥に、瞬時をまどろむ。

医療従事者という枠から、すこしでも自由の空間へ逃げ出そうと、  
週休二日制を横目で眺めながら、溜息をついている。

不惑も半ばを過ぎ、知命も近くなって、まだ娑婆の空気が恋しく  
て……。暁を覚えざる春眠が、夏の真昼になってもまだ続いている  
この体たらく。何をボヤいとる。サッサと引っ込め。(内山)

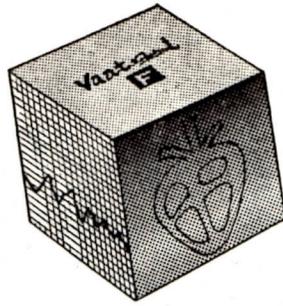
編集会議余滴の中で毎度の事乍ら原稿集めの事、討論されていま  
したが、医師会昔話の対談と平行して休日診療問題、医師賠償責任  
保険問題等々、テーマは山程ありますから座談会の開催を希望いた  
します。(H生)

編集後記を受け持って三ヶ月。先生方の原稿に批評や讃辞を呈す  
るのも、なんとなく遠慮で、所感や読後感でお茶をにぎしました。  
この受け持ちから解放されるとなると、かえって今後自分が何かを

書かなければという義務が待ち構えているようで、このまま気楽な  
後記書きを続けたくありません。

ここ数号をみて、医政、随筆、文芸とスタイルが定着し、書く人  
も読む人も会報に一つの期待を持ち始めたと思います。当分の期  
待に集約すれば、新たに原稿を書く人もテーマを選択し易いかと察  
します。多少あきがきたとしても、最後尾から参加するには一番と  
つきやすいスタイルです。(野村有信)

デスクをお引受けしてから早くも半年を経過し、ここに第十二号  
を迎えました。私ことたまたま今年六十年史編纂の方のデスクを仰  
せつかり、当初お約束した半年だけのデスクの期限も参りましたこ  
ともあり、次号からは再び名デスクの藤野先生にバトンをお渡し  
することになりました。不馴れな私に御協力下さいました編集委員  
各位に厚く御礼申し上げます。ここで一寸本誌を印刷、製本して頂  
いている昭和印刷KKについて触れておきたいと思えます。前号(第  
十一号)の製本については、三つの悪条件を克服して期日までに納  
本されたもので、大変な努力だったことと思えます。その一つは同  
社の福生営業所の近くから火事が出て類焼によって多大の損害を受  
け、その処理に時間を取られたこと、もう一つはゴールドデン・ウィ  
ークによる時間の制限、更に納期の一日短縮と、この三つのハンデ  
キャップがありました。ここに昭和印刷の関係者の方にも厚く御礼  
をのべて、更に今後の御協力をお願いしたいと思います。(池田)



■ 健保適用

# 心疾患の長期管理に！

トリメタジジン 二塩酸塩製剤

## パスタレルF錠

心仕事量の軽減・心筋代謝の賦活・特異的心筋保護作用・副血行路形成の促進

〈適応〉 急・慢性冠不全・狭心症・心筋硬塞・冠硬化症

〈包装〉 糖衣錠(1錠3mg) 120錠・600錠・3000錠

販売元 稲畑産業株式会社 医薬事業部

大阪市東区道修町2丁目40

製造元 京都薬品工業(株) 京都市中京区西ノ京月輪町

〈健保適用〉

コカルボキシラーゼ水溶性注射液

## ネオアリナチオール®注

NEO ALLINATHIOL

【包装】注射液	5mg	1ml×10A・50A・200A
	10mg	2ml×10A・50A・200A
	25mg	10ml×10A・50A・200A
	50mg	20ml×10A・50A

広範囲化学療法剤

## デスコシン

DESCOCIN

【包装】	125mg	100カプセル
	250mg	100カプセル 500カプセル

能書参照の上御使用下さい。



関東医師製薬株式会社

東京都杉並区堀之内3-20-11医製ビル

# 東洋羽毛の 羽根ふとん

かるーい羽根ふとん……  
さわやかな朝…を……



○ 羽毛肌掛ふとん

365日お使いになれます

● 高級羽毛 DOWN 0.5kg

● サイズ 180cm × 130cm

● 色 2色

● 会員価格 ￥13,000

分割 ￥14,000

● サイズ 42cm × 63cm

● 色 2色

● 組合員卸価格 ￥3,600

- 最高級羽毛 DOWN 1.8kg 使用
- サイズ 200cm × 150cm
- 色 金茶、グリーン、赤
- 組合員卸価格 ￥36,000  
分割 ￥4,000 × 10回

**東洋羽毛工業株式会社**

本社 東京都港区南青山5丁目10番12号

TEL 409-7878・5704

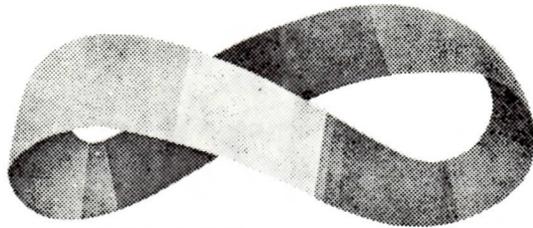
組合員関係連絡

TEL八王子 (0426) 91-2006

代表者 佐藤 健一

※ 御用命はメーカーより直接現品を持参  
御説明に参上致します。

## 抗生物質療法の限界に挑戦する



新合成広範囲抗生物質

新発売

# ミノマイシン® 健保適用

塩酸ミノサイクリン100mgカプセル

- 特長：
1. 耐性ブドウ球菌にも強い抗菌力をしめします
  2. 著名な殺菌作用がみとめられています
  3. 他の抗生物質との交叉耐性が見られません
  4. 耐性獲得は遅く、耐性菌をつくりにくい抗生物質です
  5. 少量の経口投与で高い血中濃度を長時間持続します

用法・用量：1日 1～2回(100～200mg(力価))で各種感染症にすぐれた治療効果がえられます

包装：100カプセル

薬価基準：1カプセル(100mg) 340.00



製造 日本レダリー



販売 武田薬品

殺菌効果と速効性なら断然トップ!!

新しい抗生物質製剤

# **ダラシン** カプセル

基準名：塩酸クリンダマイシン カプセル

1. グラム陽性菌に対して、常用投与量で十分な殺菌効果を発揮します。
2. 他剤でアレルギー反応を示す患者でも過敏反応を惹起した例はありません。
3. ペニシリン耐性の黄色ブドウ球菌にも有効です。
4. 特記すべき副作用の認められた例は、いまだ報告されていません。

用法・用量＝1日3～4回600～900mg・4～6cp

経口投与

薬価基準＝150mg1cp ¥140,00

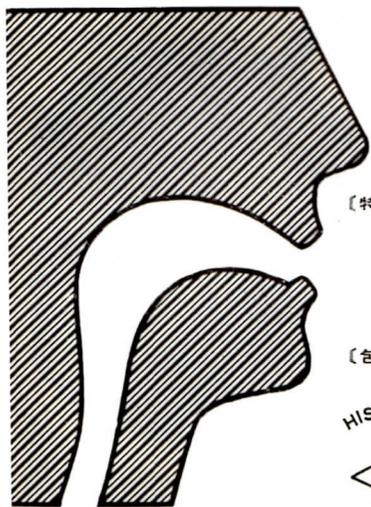
75mg1cp ¥ 72,30

**Upjohn** 日本アップジョン株式会社

健保適用

扁桃腺炎・口内炎

咽喉頭炎・口内手術創に!



含嗽用水溶性

## **アズレン** 顆粒「ヒシヤマ」

- 〔特長〕
- 強力な消炎、肉芽発生促進作用により口腔内の炎症を速かに緩解します。
  - 水を加えると速かに溶解して淡青色のうがい液となり清涼感があります。
  - 1回量宛分包されていますから投薬に手間がかからず携帯にも便利です。

〔包装〕 2g×100包      2g×1000包      2g×2500包

HISHIDAIYA



**菱山製薬株式会社**

大阪市東区道修町2-37  
出張所：東京・名古屋・福岡・札幌・広島・高松



## ワールドパーク……は 先生方の憩いの場所です

◆ 雄大な白河高原の一角，温泉の湧き出づる高級別荘地，これがワールドパークです。

所在地 / 福島県西白河郡西郷村大字鶴生字シナシ1番地  
地目 / 山林 建ぺい率 / 7割 道路 / 5～6m 排水溝つき  
電気 / 3相高圧6600V 水道 / 地下130m ポンプ汲あげ完了  
温泉 / 52℃の単純泉 7割配管済 区画 / 350区画  
1区画 / 330㎡～1000㎡ 価格 / 1㎡当り6000～12,000円  
温泉権 / 1口500,000円 工事負担金 / 1区画50,000円



### 日絵観光株式会社

本社 東京都渋谷区道玄坂1-19-9 暁ビル  
支店 福島県白河市中町24 トミヤビル  
免許 建設大臣(1)919号

お問合せ  
(462)  
1161(代)